

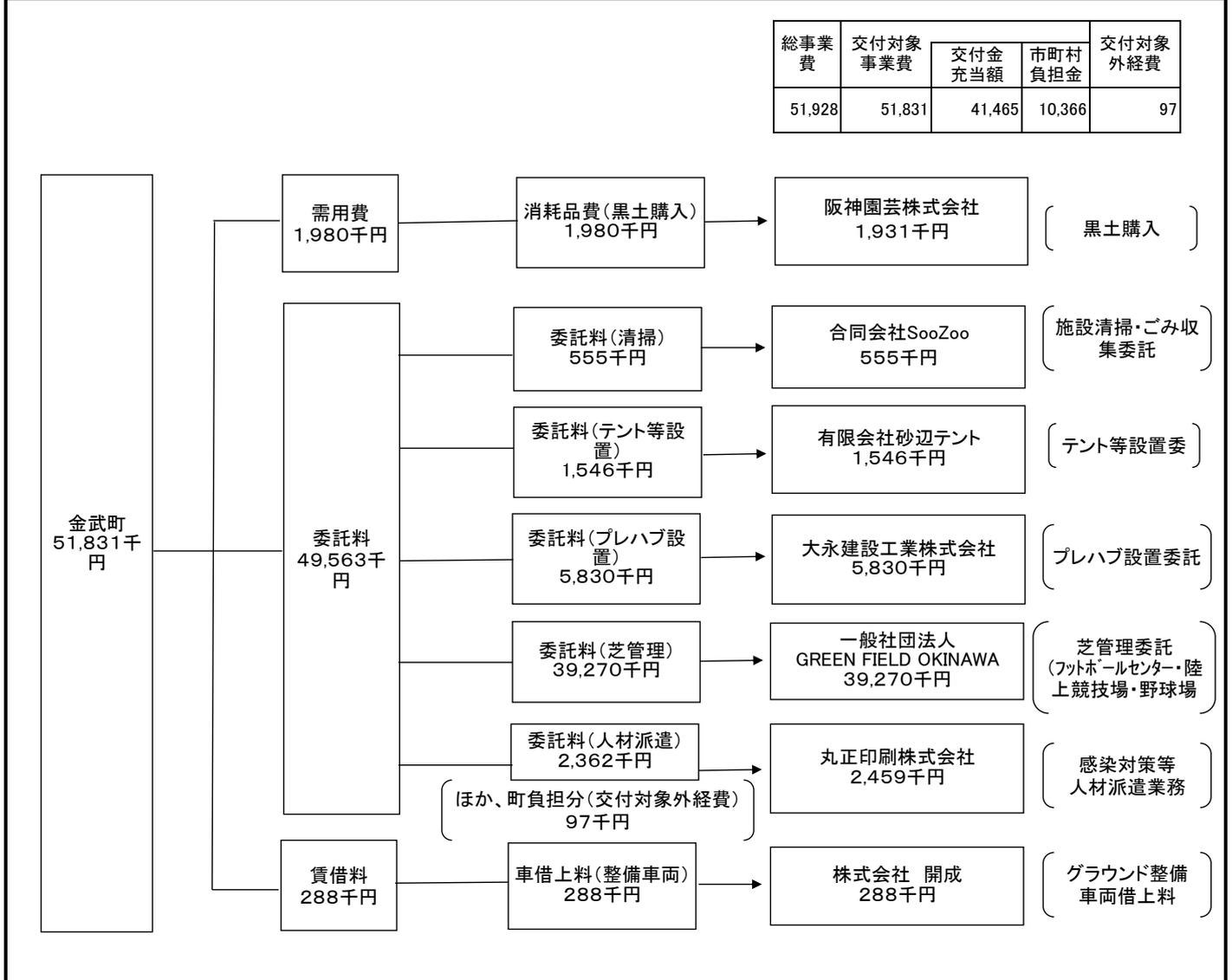
市町村名		金武町										
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	1-① プロスポーツ受入事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア							
	担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立						
事業内容		本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期の受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。					Ⅲ-1-(1)					
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()											
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		
		(a) 当初予算額	43,777	43,305	51,793	47,174	47,393					
	(b) 予算現額	42,460	43,208	51,793	46,126	53,316						
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,317	▲ 97	0	▲ 1,048	5,923						
	(d) 繰越額											
	A. 計(b+d)	42,460	43,208	51,793	46,126	53,316						
	B. 執行済額	42,460	42,611	43,014	46,126	51,831						
	うち交付金充当額	33,968	34,088	34,410	36,900	41,465						
	次年度繰越額											
	執行率(%) (B/A)	100.0%	98.6%	83.0%	100.0%	97.2%						
予算の状況の説明	プロチームを受入れるために必要な芝管理や黒土の補充によるグラウンド整備等の競技環境の整備、会場の清掃、テント等の設置などの受入体制の強化を図った。また、不足する諸室を補うためのプレハブを設置した。令和3年度はコロナ禍での有観客での実施となったため、プレハブの増設や人員配置を行ったことから増額となった。											
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況									
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度						
	競技環境の整備	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)						
		実績	5チーム	5チーム	4チーム	4チーム						
	プロスポーツ受入の実施	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)						
		実績	5チーム	5チーム	4チーム	4チーム						
	見学者受入体制の整備	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)						
		実績	5チーム	5チーム	4チーム	4チーム						
	プロスポーツキャンプ受入体制の構築	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)						
		実績	5チーム	5チーム	4チーム	4チーム						
スポーツ教室の開催	目標	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)							
	実績	4回	4回	0回	0回							
達成状況説明	競技環境の整備や受入体制を強化することで、継続した3チームを受入れることができた。競技環境の良好さもあり、サッカーでさらに1チームを受入れることができたほか、継続チームのキャンプ実施期間が昨年同様延長された。スポーツ教室については、コロナウイルスの影響により実施できなかった。											
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)					
	プロチームキャンプの受入	目標	()	()	(5チーム)	(4チーム)	()					
		実績			4チーム	4チーム						
進捗状況説明	令和2年度は受入目標を5チームとしていたが、受入チームの定着化に伴い、キャンプ実施期間も延びてきていることから、4チームの受入態勢が適当であると考えられる。令和3年度については、コロナウイルスの影響によりキャンプ実施も危ぶまれたが、年間を通して環境整備を図ることで、継続的なキャンプの実施や、期間延長が見られるなど、事業の効果が得られていると考える。											

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	近年、受入チームの定着化が徐々に図られていると感じているところである。コロナウイルスの影響により、キャンプ実施の可否がギリギリになるまで決定せず、結果として有観客で行われたが、様々な対策を要するなど、キャンプの実施方法等で変化が生じた。	コロナ禍においても引き続きキャンプを受入れることができるよう、安心・安全な環境をPRするとともに、有観客への対応が可能なように最善の準備に努めなければならない。

今後の取り組み方針

これまで実施してきたグラウンド整備や環境づくりのほか、手指消毒や除菌、ゾーニングを徹底して行うことで選手の安全を確保し、また、有観客に備え、密にならない環境づくりを進めることで、継続したキャンプを実施できるよう取り組む。
 受入チームの定着化に伴い、徐々に期間が延長されることも視野に入れ、長期間のキャンプとなった場合にも、選手の控室などを確保するため、プレハブ等を増設する。
 また、令和4年度からは屋内運動場も供用開始予定となっていることから、同施設利用を踏まえた受入環境について球団と調整を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



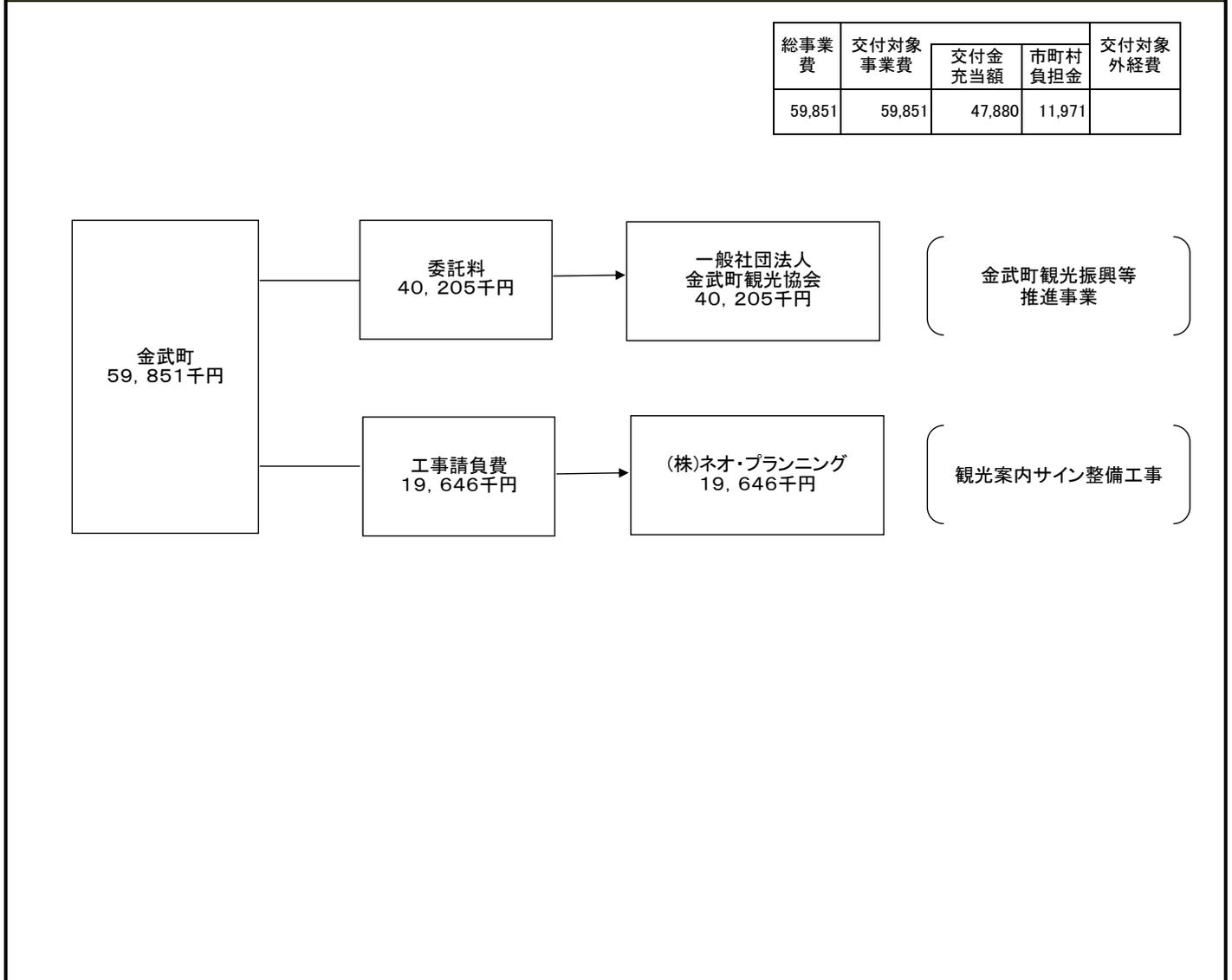
資金の流 点検 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約で契約したが、金武町財務規則に基づいて契約締結しており、選定方法は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○グラウンド状況により実施しなかった業務があったものの、通常であれば実施するものであり、予算規模は適正であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	費目・用途が事業目的に即し、真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-② 金武町観光振興等推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(9)-エ			
	担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	令和1～3年度		もづくり産業の戦略的展開		
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1		
事業内容	観光誘客及び観光客の利便性の向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内サインを整備する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額				46,622	53,465	69,971
		(b) 予算現額				36,317	59,688	65,752
		(c) 増減額(b-a)				▲ 10,305	6,223	▲ 4,219
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)				36,317	59,688	65,752
	B. 執行済額					37,439	59,688	59,851
	うち交付金充当額					26,708	47,750	47,880
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)					103.1%	100.0%	91.0%
予算の状況の説明		コロナウイルスの影響による地域活性化イベントや物産展の未開催があった。また、実施できたイベントにおいてもコロナウイルスの状況により規模を縮小するなどして実施したための減額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	地域活性化イベント来場者数	目標	()	(6,547人)	(1,586人)	(34組(68人))		
		実績		7,804人	499	188人		
	観光物産PRブース来場者数	目標	()	(3,364人)	(1,972人)	(1,972人)		
実績			2,893人	1,509	194			
達成状況説明	地域活性化イベントについては、コロナウイルスの影響で規模を縮小して開催したが、昨年以上の来場者が訪れた。観光物産PRブースについてはコロナウイルスの感染状況から、予約制やオンラインでの開催となり大幅減となっている。実績については、予約販売及びオンラインでの販売数となっている。今後、温泉宿泊施設が開業する予定となっているため、本町の豊かな自然環境を活かしたアクティビティや充実した体育施設、医療施設、温泉施設等が一体となった観光メニュー等について、関連団体と取り組む。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	地域活性化イベント来場者数	目標	()	(6,547人)	(1,586人)	(34組(68人))	()	
		実績			7,804人	499	188人	
	観光物産PRブース来場者数	目標	()	(3,364人)	(1,972人)	(1,972人)	()	
		実績			2,893人	1,509	194	
進捗状況説明	地域活性化イベントについては、コロナウイルスの影響で規模を縮小して開催したが、昨年以上の来場者が訪れた。観光物産PRブースについてはコロナウイルスの感染状況から、予約制やオンラインでの開催となり大幅減となっている。実績については、予約販売及びオンラインでの販売数となっている。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>コロナウイルスの影響により、地域活性化イベントや観光物産PR事業が軒並み中止となり、観光関連事業が大きな産業となっている本県にとって大きな影響を受けた。今後の観光や町のPRの在り方について変化を伴う可能性が生じた。</p>	<p>令和4年度において、温泉宿泊施設、ビーチ及び海浜公園が開業予定となっており、新たな観光資源が創出される。通過型観光から滞在型観光への転換を図るための取り組みを行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>メディアやインターネット等を活用した情報発信を強化するとともに、本町の豊かな自然環境を活かしたアクティビティや充実した体育施設、医療施設、温泉施設等が一体となった観光メニュー等について、関連団体と取り組む。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者選定は、地方自治法施行令第167条の2第1号に基づき随意契約を交わしており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○コロナウイルスの影響で実施できなかった事業もあるが、通常であれば実施するものであり、予算規模は適正であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。

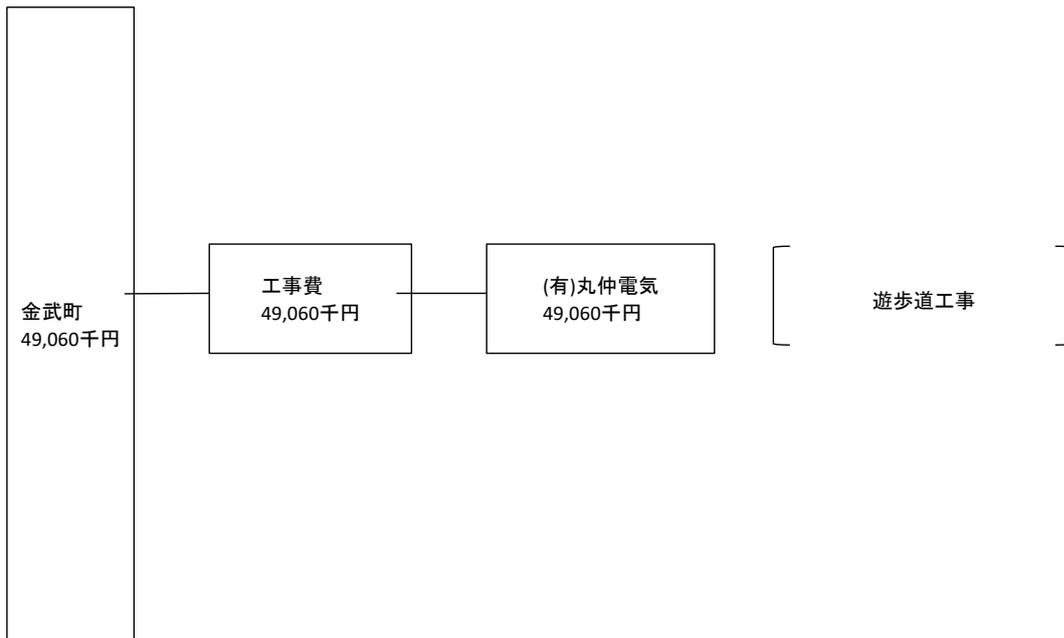
市町村名	金武町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	水辺をつなぐ遊歩景観推進事業					
担当部課名	建設課 建設第2係	事業実施(予定)年度 令和2~3年度					
事業内容	金武町の観光名所である大川の湧水を活用した大川児童公園と湧水の流末に位置する親水広場との遊歩道を整備し、施設間の一体化、機能強化を図り、観光振興に寄与することを目的とする。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和4年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)					5,236	26,000
						5,060	49,060
			0	0	0	▲ 176	23,060
			0	0	0	5,060	49,060
	B. 執行済額					5,060	49,060
	うち交付金充当額					4,048	39,248
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%
予算の状況の説明							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	整備工事の実施	目標	()	()	()	(整備工事の完了)	
		実績				整備工事の完了	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	満額執行済みである。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	整備工事の完了	目標	()	()	()	(整備工事の完了)	()
		実績				整備工事の完了	
	関連施設の利用者数	目標	()	()	()	()	(78,000人/年)
		実績					
	進捗状況説明	無事に整備工事が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>コロナウイルスの影響により、観光関連事業が大きな影響を受けた。また、それだけでなく観光のあり方自体も変化が生じているため、今後の観光や町のPRの在り方について変化を伴う可能性が生じた。</p>	<p>コロナウイルスの影響により、屋外で行う活動が注目されている。そのため、金武町でも豊かな自然環境を活かした観光を売りとする必要である。</p>

今後の取り組み方針
<p>メディアやインターネット等を活用して、機能強化がされたことを広く周知するとともに、大川児童公園や湧水などの自然環境を活かした観光メニュー等の開発に取り組む。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
49,060	49,060	39,248	9,812	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者は指名競争入札であり、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○積算基準書に基づいた積算となっており、妥当であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○工事に係る費用に限定されており、妥当であった。

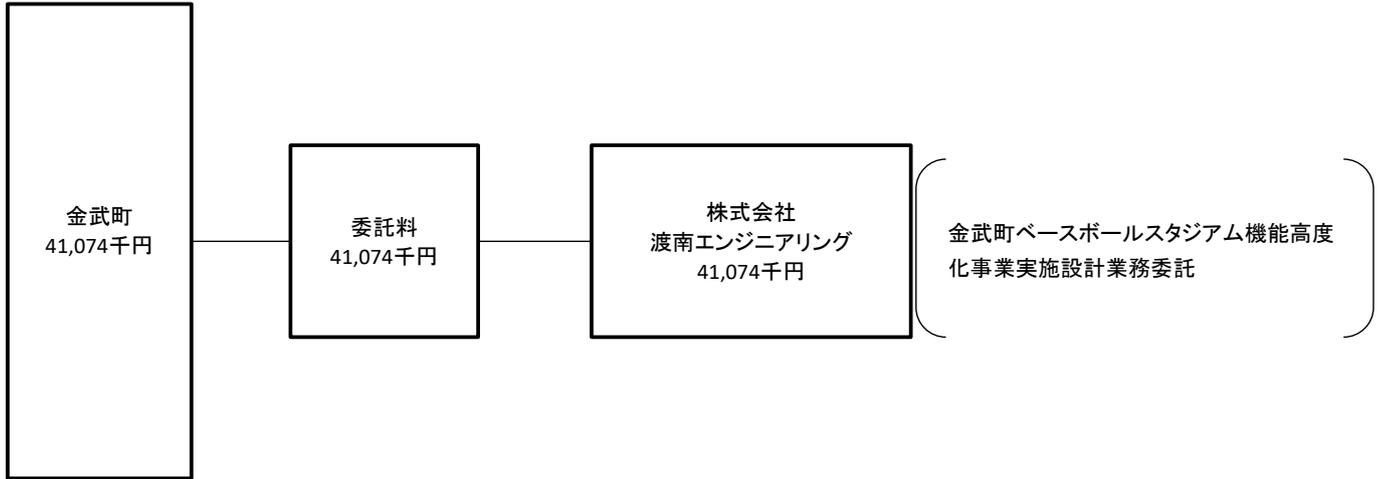
市町村名		金武町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④		金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
	担当部課名	社会教育課		事業実施 (予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	<p>金武町ベースボールスタジアムにおいて、プロチームのキャンプや県内外の大学、高校の合宿 県内各種大会及び国際交流試合等と多岐にわたる開催実現に向け、スタジアムの機能高度化に係る実施設計を行う。</p> <p>電光掲示板を選手名表示や観戦者に対する情報提供等ができるようにし、内野スタンドの観客席の設置、ダッグアウトの拡張、外野スタンドの通路の設置、スタジアム周辺の整備等一体的な機能高度化を図ることで、利用者に対しより機能の高いスタジアムの形成を目指すとともに、安全な観戦環境を整え同スタジアムの利便性の向上を図り、スポーツ交流で観光振興の促進へもつなげていく。さらに、沖縄県のスポーツ振興による「アジア、世界に開かれたスポーツアイランド沖縄」としての一躍を野球を通して多様性のある国際的なブランド力を付加し、高めていくことを目的とする。</p>							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	42,467					
		(b) 予算現額	41,250					
		(c) 増減額(b-a)	▲1,217	0	0	0	0	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	41,250	0	0	0	0	
	B. 執行済額		41,074					
	うち交付金充当額		32,859					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		99.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		不用額1,393については、入札残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	土木実施設計の完了 建築実施設計の完了	目標	(実施設計の完了)	()	()	()		
		実績	実施設計の完了					
		目標	()	()	()	()		
実績								
達成状況説明	令和3年度に土木及び建築の実施設計を完了することができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値 (R年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R5年度)	
	土木実施設計の完了 建築実施設計の完了	目標	()	(実施設計の完了)	()	()	()	
		実績		実施設計の完了				
	スタジアム利用者数 プロキャンプ時等の観客数	目標	()	()	()	()	(13,035人/年 19,870人/年)	
		実績						
進捗状況説明	令和3年度に土木及び建築の実施設計を完了することができた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	期間内に実施設計が完了したため、課題はないと考える。	実施設計を行い、機能高度化に係る金額及び計画が立てられたため、改善の必要はないと考える。

今後の取り組み方針
令和4年度は、実施設計をもとに施設の機能高度化に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
41,074	41,074	32,859	8,215	



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	請負業者については、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	不用額は事業費の5%以内であり、適切な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・使途については、清算段階で検査しており、妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	金武町就職活動支援補助事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 Ⅲ-2	
事業内容	雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求職者への相談員による就業相談や、中小企業等に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。 また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、雇用問題の解決や就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	31,135	30,000	34,335	30,792	28,764
		(b) 予算現額	23,555	24,800	25,725	24,469	23,582
		(c) 増減額(b-a)	▲ 7,580	▲ 5,200	▲ 8,610	▲ 6,323	▲ 5,182
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	23,555	24,800	25,725	24,469	23,582
		B. 執行済額	23,500	22,053	25,205	23,213	22,079
		うち交付金充当額	18,799	17,642	20,163	18,570	17,663
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	99.8%	88.9%	98.0%	94.9%	93.6%
	予算の状況の説明	減額理由として新型コロナウイルスの影響により、実施出来なかった講座があったためである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	職業相談、求人・求職等の情報提供	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施:325名	実施:308名	実施:306名	実施:423名	
	各種講座の開催	目標	(4講座)	(11講座)	(11講座)	(8講座)	
		実績	5講座	11講座	8講座	8講座	
企業セミナー キャリア教育(小学校・中学校)	目標	(2回・4回)	(2回・5回)	(2回・8回)	(0回・6回)		
	実績	2回・6回	2回・8回	2回・8回	0回・6回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・職業相談については、令和2年度より117名増え、423名に対して実施した。 ・各種講座については、町内求職者及び各種事業所のニーズを確認しながら実施した ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3つの講座及び企業セミナーが実施出来なかった。 ・キャリア教育については、町内の全小学校・中学校に対してニーズを確認しながら実施したが、新型コロナウイルスの影響により実施回数は減少となった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	就業率	目標	()	(10.70%)	(10.80%)	(10.14%)	()
		実績		7.50%	9.50%	5.20%	
	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		95.90%	99%	99%	
【参考指標】(採用者数)	目標	()	(10名)	(10名)	(10名)	()	
	実績		20名	29名	22名		
進捗状況説明	就職相談や求人情報収集で当センターへ来所する方は多数いたが、紹介状発行を求める方が少なかったため、就業率が目標に届かなかった。企業の求人と求職者の求める仕事のマッチングがうまくいかず就職に至らなかったと思われる。今後は、しっかりマッチングができるよう相談・面談等を引き続き実施する。 キャリア教育については、各学校等と連携した結果、達成率99%であり、児童生徒が働くことへの関心が高まったと考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、企画していた講座をやむを得ず中止にした。雇用については、解雇等が増加してきており、令和2年度と比較して100名以上も当センターに来所している。そのため、雇用拡大を図る必要が一層強くなっている。	新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、実用性及び就職と結びつきが高い講座を開催する必要がある。企業と求職者のマッチングがうまくいように面接相談等を引き続き実施し、町内雇用の拡大に努める。 また、キャリア教育についても、感染症対策を考慮しながら、児童生徒の学ぶ機会を損なわないよう実施していくとともに、児童生徒が町内従事者並びに新たな職業の可能性を探ることが、より一層大事であると考えられる。

今後の取り組み方針

新型コロナウイルスの感染症の動向や感染対策を考慮しながら、企画した講座はできる限り遂行したい。新型コロナウイルス感染症の影響による解雇等の相談が増えてきていることから、就職に必要な資格取得のための各種講座を開催し、雇用機会の増大を図る。また、町内の事業所の従業員のスキルアップのための講座も開催する。
キャリア教育については、引き続き学校及び各種団体等と連携し、先進的・効果的な取り組みをすることで児童生徒が働くことへの興味・関心を促すことに繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
22,079	22,079	17,663	4,416	0



資金の流 れ、 点 検 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の適正化に関する条例及び団体補助金交付規則に基づき適正に選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルスの影響により、実施出来なかった講座もあったため不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度運営者との間で協議し、適正であると判断している。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町				
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-①	小中学校学習等支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)
事業内容	町内の小中学校へ外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	58,081	38,053	36,050	34,757
	(b) 予算現額	58,070	31,108	36,050	32,057	23,218
	(c) 増減額(b-a)	▲ 11	▲ 6,945	0	▲ 2,700	▲ 15,584
	(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)	58,070	31,108	36,050	32,057	23,218
	B. 執行済額	45,692	31,108	31,151	30,991	22,786
	うち交付金充当額	36,553	24,886	24,920	24,792	18,228
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	78.7%	100.0%	86.4%	96.7%	98.1%
予算の状況の説明	概ね当初の計画どおりに事業が執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	日本人英語指導員配置数	目標	(小学校:2人)	(小学校:2人)	(小学校:2人)	(小学校:2人)
		実績	小学校:2人	小学校:2人	小学校:2人	小学校:2人
	外国人英語指導助手配置数	目標	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)
		実績	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人
英語コーディネーター	目標	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	
	実績	教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人	
達成状況説明	それぞれの小学校及び中学校に指導員が配置できた。また、月1回のミーティングを開催し、各学校での状況や課題を共有することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
		(小学校)児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差-4%以上	目標	() (平均正答率 84.5%)	(平均正答率 82.3% (全国))	(正答率の差 -4%以内 (82.5%))
		実績	80.3%	平均正答率 -6% (76.3%)	正答率の差 -1.2% (81.3%)	
	(中学校)英語検定3級において、校内受験者数の合格率31.6%以上	目標	() (合格率26%以上)	(合格率31.6%以上)	(合格率 31.6%以上)	()
		実績	44.4%	21.1%	47.4%	
進捗状況説明	<p>○町内小学校で行っている「英検Jr.検定(シルバー)」においては、正答率が81.3%となり目標であった平均正答率の差(-4%以内)となった。全国平均には届いてないがほぼ全国平均値に近い正答率となっている。</p> <p>○中学校において、英語検定3級の受験者は減少しているが、合格率は47.4%となっており、目標の数値を上回っている。</p>					

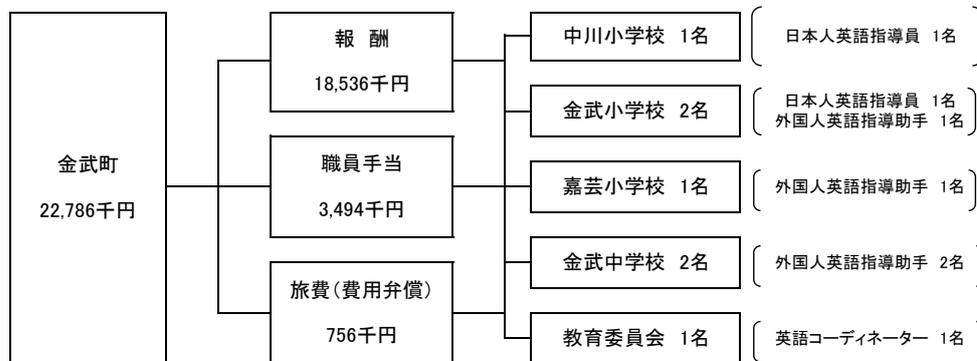
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>【小学校】R3は、Silver(小学校中学年向け)の受検者数が減り、Gold(小学校高学年向け)の受検者数が増えている。年々上位のレベルに挑戦する児童が増え、4年前と比較して英検Jr.受検者が増加していることから、日頃の英語活動で少しずつ英語を理解し、児童の英語に対する意識が高まったと考える。</p> <p>【中学生】英語検定全体(5級～1級まで)の受検者数はR2に比べ減少しているが、各級全体の合格率がR2に比べ16.7%(R2合格率31.0、R3合格率47.7)も増率している。準2級の受検者数が11名、準1級及び1級の受検者数が各1名おり、合格する生徒が2名となっているが、準1級、1級の合格者が0名となっており、より高いレベルを受験する生徒が増えている。</p>	<p>【小学校】日頃の英語活動の授業で少しずつ英語を理解し、英語に対して積極的になっているといえる。今後は、子どもたちの意欲に応え、さらに英語力を伸ばすために、授業方法、教材、チームティーチングの改善、職員の英語運用力の向上などを高める工夫と努力が必要である。</p> <p>【中学校】過去を比較すると受検者数はR2が最も多いものの、合格率は過去最低の割合になっている。特に3級はの受検者数が大幅に増えているのに対し、合格者数が低い結果となっている。生徒の意欲に応えるような指導法の工夫・改善が必要である。</p>

今後の取り組み方針

英語コーディネーターを中心とした打ち合わせを週に1回実施することでそれぞれの学校の状況や課題を共有することができた。異国の文化の紹介や交流を目的に海外移住者子弟等研修生が学校を訪ね交流事業を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により研修生が来沖出来ないこともあったが、外国人指導助手の出身地の紹介などこれまでと遜色のない交流事業が実施できた。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
22,786	22,786	18,228	4,558	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・用途については、金武町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 幼稚園預かり保育事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-5-(3)-ウ 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成					
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度 平成24～令和3年度 沖縄振興基本方針該当箇所 III-3-(1)					
事業内容	保護者の育児における負担の軽減を図るため、預かり保育を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		12,017	3,140	3,140	5,213	5,213
			12,017	3,157	3,140	5,213	5,213
			0	17	0	0	0
			—				
			12,017	3,157	3,140	5,213	5,213
	B. 執行済額 うち交付金充当額		10,659	3,147	2,517	3,493	3,845
			8,526	2,517	2,014	2,794	3,075
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		88.7%	99.7%	80.2%	67.0%	73.8%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により通常どおりの活動等が行えない時期もあったが、概ね計画的に執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	預かり保育の実施	目標	(事業実施)	(事業実施)	(事業実施)	(事業実施)	
		実績	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	
	支援員の配置	目標		()	(4人)	(4人)	
		実績			4人	4人	
	目標		()	()	()		
	実績						
達成状況説明	支援員の確保については、予定どおり4人を確保できた。目標として入園予定人数8人の園児を受け入れを予定していたが、年度途中の転入園児も受け入れることが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
		保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
		実績		100%	100%	100%	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	○事業を実施することにより保護者の育児負担軽減の満足度が100%となっている。また、園児の交流が幼稚園了後も図れるとあり交友関係でも保護者の安心感が満たされた事業となっている。今後も保護者や委託先との連携を取りながら保育の充実を図っていきたい。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○アンケートにおいて、目標以上の満足度を達成しており、保護者の育児における負担の軽減が図られていると考える。</p> <p>○預かり開始時期が幼稚園入園後となっており、4/1日から入園式までの期間の保育について、保護者より保育希望があった。</p>	<p>○預かり開始の時期を、委託先や指導員と十分に確認を行い、今後、入園前に保育開始ができるよう取り組む必要がある。</p>
<p>○委託先である中川区と連携しながら、指導員の確保、勤務体制等の更なる充実に努める。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,477	3,845	3,075	770	632
<pre> graph LR A[金武町教育委員会 3,845千円] --> B[委託料 3,845千円] B --> C[中川区長 4,477千円] B --- D["(ほか、金武町負担分(交付対象外経費) 632千円)"] C --- E["(指導員賃金、消耗品等)"] </pre>				

資金の流 れ、費目・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先、費目・用途については、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模において、事業内容に見合った適正な規模である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	特別支援教育支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ			
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	町内各小中学校において支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、学級担任と連携して適切な特別支援教育を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	58,081	38,053	36,050	34,757	38,802
		(b)予算現額	58,070	31,108	36,050	32,057	32,510
		(c)増減額(b-a)	▲ 11	▲ 6,945	0	▲ 2,700	▲ 6,292
		(d)繰越額	—				
		A. 計(b+d)	58,070	31,108	36,050	32,057	32,510
		B. 執行済額	45,692	31,108	31,151	30,991	32,719
		うち交付金充当額	36,553	24,886	24,920	24,792	26,175
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	78.7%	100.0%	86.4%	96.7%	100.6%
	予算の状況の説明	・年度途中に支援員の入れ替わり等があったが、のべ16名を配置した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	特別支援教育支援員配置数 幼稚園:1人 小学校:11人 中学校:4人	目標	(小学校13人 中学校5人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	
		実績	(小学校13人 中学校5人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(小学校12人 中学校4人)	(小学校12人 中学校4人)	
	達成状況説明	・小学校に医療的ケアの必要な児童がいたため12人を配置、中学校に4人、計16人の支援員を配置した。幼稚園(中川幼稚園)もつについては、支援を必要とする園児がいなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		81%	85%	87%	
	【参考指標】 学校評価における、特別支援教育に関する項目について、目標「支援を要する幼児児童生徒に対し、適切な支援が行われていると感じる」評価3以上(4段階評価)	目標	()	(3以上)	()	()	()
実績			3.5%				
	進捗状況説明	町内各小学校において必要に応じ特別支援教育支援員を配置することができた。保護者へのアンケートでは、87%が学校生活や学習上の困難が改善されたと回答があり、目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○支援員が取り組む内容について、ほとんどの保護者が理解を示していた。</p> <p>○各市町村が特別支援教育に取り組む中で、支援員の確保が課題となっている。</p>	<p>○委員会配属の「特別支援教育推進員」を中心に常時担任や保護者が密に連携をとり、支援員の仕事の内容を改めて保護者に理解も求める必要がある。</p> <p>○年度当初から必要な支援員が確保できるよう、県内の特別支援教育に係るネットワーク等との情報交換を密にし、授業に支障がないよう取り組む必要がある。</p>

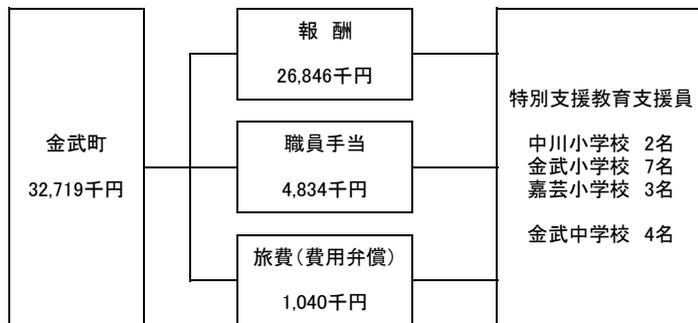
今後の取り組み方針

・支援員についての活動内容をもっと保護者にわかりやすい形で周知するとともに、支援員の質の向上の為に研修等を積極的に行っていく。また、対象児童・生徒の背景を理解しつつ、保護者と学校現場が密に連携が図れるよう、推進員を中心に丁寧なサポートを心がける。

・支援員の確保については、近隣の市町村教育委員会と情報を共有し、必要な学校に必要な人数が確保できるよう取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
32,719	32,719	26,175	6,544	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模については、支援を必要とする幼児・児童・生徒数から鑑みて、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については積算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④ デジタル教科書購入事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 第三章-5-(4)-ア 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進					
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度 令和2~令和3年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 III-3-(1)					
事業内容	令和3年度の教科書改訂に伴い、学習環境を整備し児童学習意欲の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,780	1,431			
		(b) 予算現額	4,730	1,401			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 50	▲ 30			
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		4,730	1,401			
	B. 執行済額		4,730	1,401			
	うち交付金充当額		3,784	1,120			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		○指名競争入札により、適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	デジタル教科書整備 中学校:16本		目標 () デジタル教科書整備 27本	() デジタル教科書 整備 16本	()	()	
			実績 () デジタル教科書整備 27本	() デジタル教科書 整備 16本	()	()	
達成状況説明	○中学校へデジタル教科書(16本:国語、数学、理科、社会(地理、歴史、公民)、英語、保健体育)を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	学校評価における児童生徒の評価で、授業の楽しさやわかりやすさについての評価項目で「評価3以上」(4段階評価)		目標 ()	() 評価3以上	()	()	()
			実績	/	3.4	/	/
	中学校教科書改訂に伴い、デジタル教科書購入し授業改善や障害等により教科書を使用して学習することが児童生徒の学習上の支援を実施する。		目標 ()	()	() 支援の実施	()	()
			実績	/	/	支援の実施	/
	進捗状況説明	・デジタル教科書を整備したことにより、電子黒板と連動し授業が実施できた。					

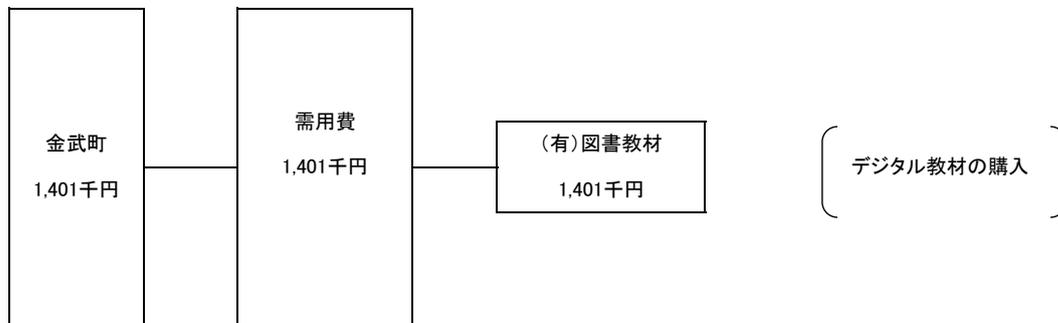
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○電子黒板と連動しデジタル教科書の活用することは、円滑な授業を進行に欠かせないものとなっている。</p> <p>○整備されたデジタル教科書が生徒に配布された学習用パソコンと連動するような取り組みが必要である。</p>	<p>○デジタル教科書は、教員が授業で活用する教科書であり、1人1台の学習用パソコンと必ずしも連動できている状況ではない。</p>

今後の取り組み方針

○デジタル教科書と1人1台の端末との連動性に向けて、現場の教員の意見を伺いどのような連動ができるか協議していく。また、町で導入した学習用支援ソフトとの連動できるよう、教諭への研修などを実施しより良い授業の環境を整えていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,401	1,401	1,120	281	0



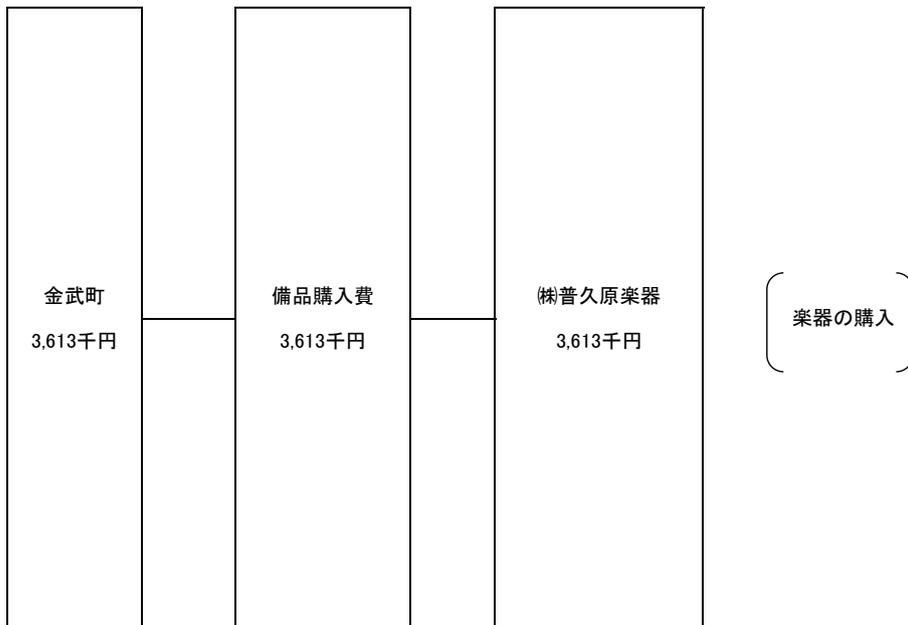
資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○指名競争入札において業者を選定し、適正に入札が執行された。</p> <p>○不用額がほとんど発生しなかった。</p> <p>○事業目的達成のため必要なものに限定し適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥	演奏活動推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	令和2~3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	演奏活動を通して地域活動に児童・生徒が積極的に参加できるよう、小学校へ吹奏楽器を整備し、地域行事に参加することで世代間交流を通じた地域活性化及び郷土愛を醸成する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R4年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	13,766	4,151			
		(b)予算現額	10,549	3,612			
		(c)増減額(b-a)	▲3,217	▲539			
		(d)繰越額	—				
	A. 計(b+d)		10,549	3,613			
	B. 執行済額		10,549	3,613			
	うち交付金充当額		8,439	2,890			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		○指名競争入札により、適正に執行した。減額の理由については、入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	楽器の整備	目標	(楽器の整備 14品種 28個)	(楽器の整備 12品種 29個)	()	()	
		実績	(楽器の整備 14品種 28個)	(楽器の整備 12品種 29個)	()	()	
達成状況説明	○金武小学校吹奏楽部に12品種29個(トランペット、トロンボーン、アルトホルンなど)の楽器を購入し整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	金武中学校に楽器を整備	目標	()	(中学校に楽器を整備)	()	()	()
		実績	/	整備完了	/	/	/
	金武小学校に楽器を整備	目標	()	()	(小学校に楽器を整備)	()	()
		実績	/	/	整備完了	/	/
	【参考指標】R4年度 ①生徒が演奏活動を行った地域行事等への総来場者数7,000人以上	目標	()	()	()	()	(7,000人以上)
		実績	/	/	/	/	/
	②楽器整備後に地域行事で演奏活動をしたことにより、地域への関心が高まった割合(80%以上)を含め、児童・生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	(80%以上)
実績		/	/	/	/	/	
進捗状況説明	○金武小学校吹奏楽部に吹奏楽器を整備した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○R3年度に小学校吹奏楽部へ楽器を購入し整備したが、新型コロナウイルス感染拡大により、地域活動への参加ができない状況である。	○新型コロナウイルス感染症の影響が収まった後の吹奏楽部の活動状況を把握する必要がある。
今後の取り組み方針		
○世代間交流に向けて、地域の老人ホームやデイサービスでの慰問、地域の催しや金武町まつりなどに積極的に参加する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,613	3,613	2,890	723	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札において業者を選定し、適正に入札が執行された。 ○不用額がほとんど発生しなかった。 ○事業目的達成のため必要なものに限定し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

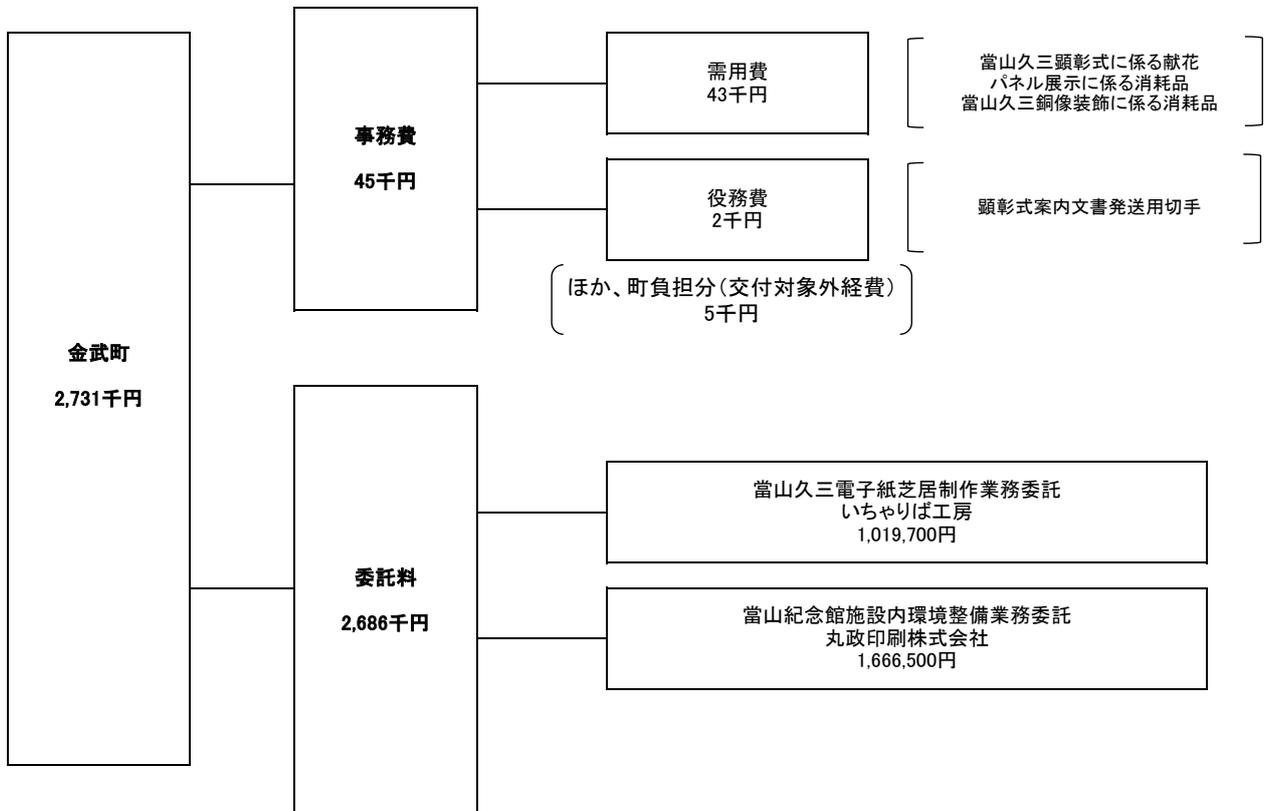
市町村名		金武町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	金武町移民の日記念事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア			
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進			
事業内容	<p>町内各小学校の1年生～3年生を対象とした教材の活用を視野に入れ、沖縄移民の先駆者である「當山久三」の物語を電子紙芝居で制作した。また、移民関連資料を展示している「當山記念館」の施設内の拡充を図る為、映像資料放映機器や施設パンフレットの多言語化、展示パネル資料の作成等を整備した。(業務委託)</p> <p>12月5日の「金武町移民の日」当日には、第1回移民団を送り出した本町出身の當山久三の偉業をたたえる顕彰式を執り行い、前後の10日間には移民関連資料パネル展を実施した。</p>							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,472	9,142	3,548	11,196	2,949	
		(b) 予算現額	2,755	5,924	3,548	9,150	2,560	
		(c) 増減額(b-a)	1,283	▲ 3,218	0	▲ 2,046	▲ 389	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	2,755	5,924	3,548	9,150	2,560	
	B. 執行済額		2,338	5,924	2,702	9,182	2,731	
	うち交付金充当額		1,870	4,738	2,101	7,345	2,185	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		84.9%	100.0%	76.2%	100.3%	106.7%	
予算の状況の説明								
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・顕彰式の実施 ・移民関連展示会の実施 ・當山久三電子紙芝居作成 ・當山記念館施設内環境整備委託事業 ・2022年世界のシマヌチュ大会に向けての情報発信等 	(・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施)	(・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施)	(・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施)	(・顕彰式の実施 ・移民関連展示会の実施 ・當山久三電子紙芝居作成 ・2022年世界のシマヌチュ大会に向けての情報発信等)		
			実績	(・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・講演等の実施)	(・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・講演等の実施)	(・顕彰式の実施)	(・顕彰式の実施 ・移民関連展示会の実施 ・當山久三電子紙芝居作成 ・當山記念館施設内環境整備の実施)	
	【参考指標】 移民の日関連の学習会・講演等の実施		目標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)	
			実績	1回	1回	なし	なし	
達成状況説明		<p>当初計画に基づき當山久三顕彰式並びに移民関連資料パネル展を実施。記念公演については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から記念公演は中止とし、代替プログラムとして當山久三電子紙芝居の作成、當山記念館施設内環境整備を行った。</p> <p>移民関連の学習会については、本町と同様に海外移住者子弟等研修生を受け入れている市町村と連携して実施しているものである為、新型コロナウイルス感染拡大による事業中止に伴い、学習会も中止となった。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況			基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	○参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		94.30%	新型コロナウイルスの影響により未実施	新型コロナウイルスの影響により未実施	
進捗状況説明		記念公演が中止となった為、参加者アンケートが実施出来なかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>新型コロナウイルス感染症拡大によって、集客イベントが実施出来ない状況が続いており、本事業の実施内容についても2年連続で計画変更を余儀なくされている。その状況の中で、事業目的を達成出来るよう留意しながら代替案を模索しながら取り組んでいる。</p>	<p>・本事業は、移民の歴史について広く周知する事を目的とし、更には国際的視野を持つ人材育成に繋げていく必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>・新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、記念公演イベントの実施の可否、実施内容変更の検討を行いたい。</p> <p>・移民の歴史についてわかりやすくまとめ、町と他の国々との繋がりなどを町内各学校と連携し、より多くの学生に参加・学習して頂ける様取り組んでいきたい。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,736	2,731	2,185	546	5



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	<p>●委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>●費目、使途については精算段階で検査しており、目的に即し必要なものであったと判断した。</p>
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	